

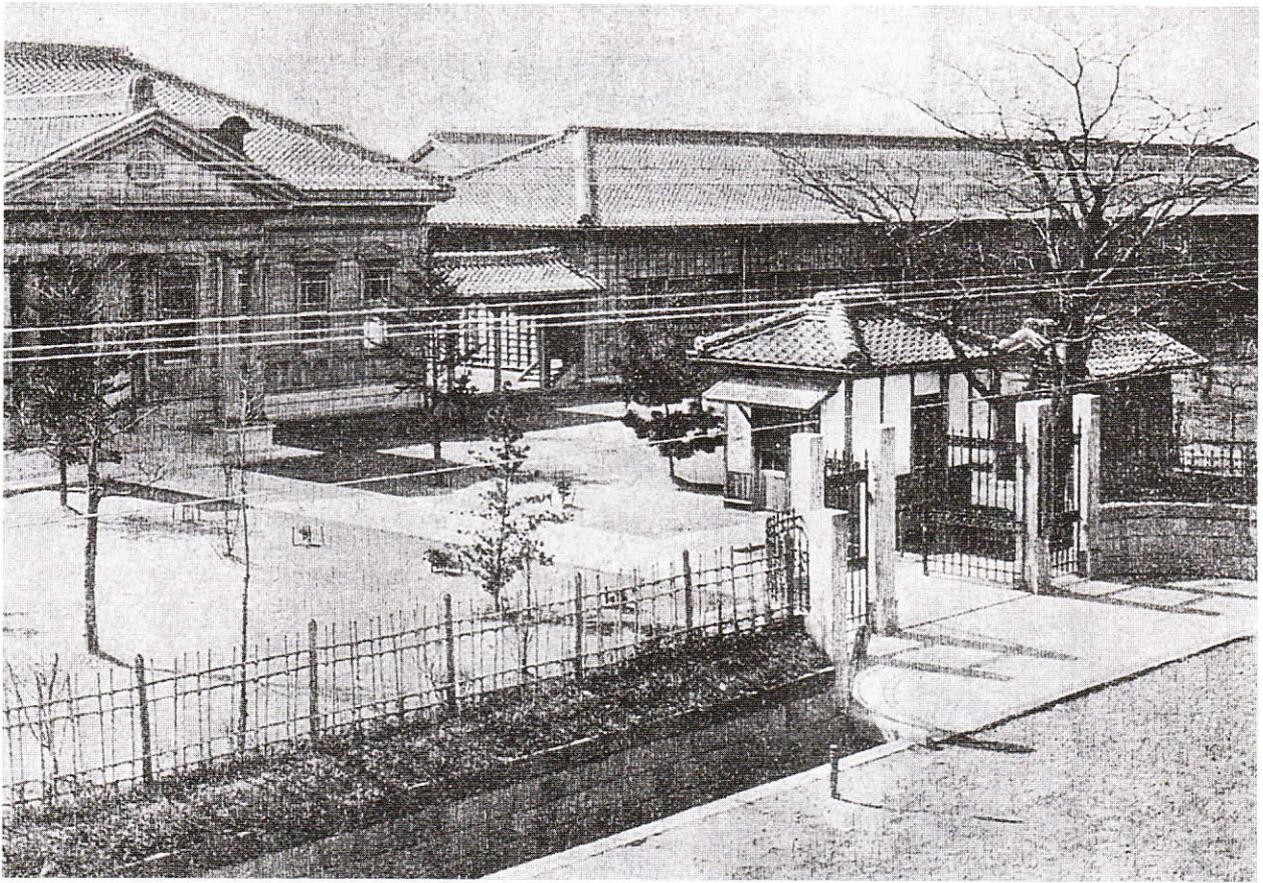
# 三豊分校のあゆみ



三豊分校仮校舎 琴陽館 (琴弾公園内、現在老人憩いの家)  
(明治33年3月14日設置)



三豊分校仮校舎 一心寺(市内幸町)  
(明治34年から35年3月まで、丸亀中学三豊分校の1・2回生がここで学んだ)



三中新校舎落成頃、樟樹はまだ小さい(明治35年)



第1回卒業生(明治39年3月29日)



明治～昭和初期には白ゲートルを着用した



第4回卒業生(明治40年頃)

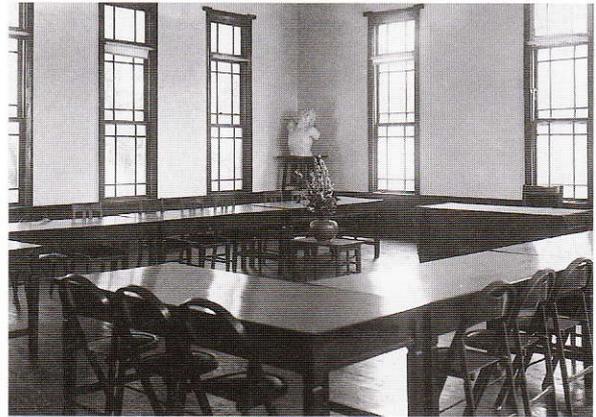


青島陥落祝賀参集(有明海岸 大正3年11月7日)

# 創立25周年記念図書館(昭和3年)



樟樹の木もれ日を受けて



会議室



竣工直後の図書館(昭和4年)



閲覧室で読書に励む三中生



化学実験室（昭和10年頃）



剣道場 剣道の型の練習（昭和13年）道場の出入りには神棚に敬礼した



剣道部(昭和10年)



柔道部(昭和5年)



水泳部(昭和6年)



籠球部(昭和7年)



陸上部



野球部



庭球部



昭和14年頃の観音寺町学友会(琴弾公園)



めったに見られない三中生の笑顔



戦場競技部 明治神宮大会で優勝(昭和17年)クラブ活動も戦時色濃厚。現在の神宮球場で全国中学校の射撃・銃剣術、ラッパ、滑空、戦場競技部が技を競った。翌年ここで学徒出陣式が行われ、旧専門学校、高等学校、大学の学生は太平洋戦争の戦場へと出陣した。

徒學員動  
縣川香

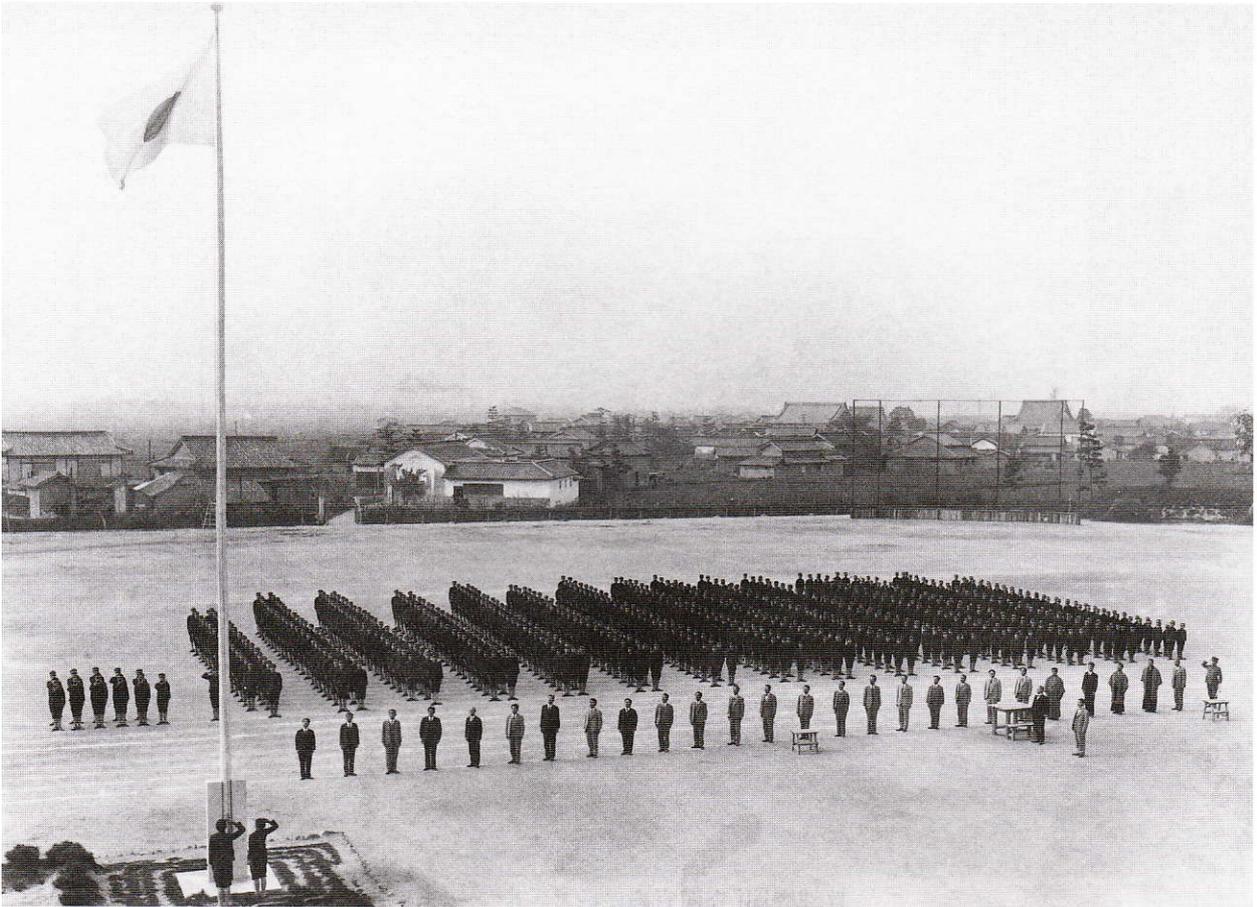
第一〇一號  
身分證明書  
學徒名 香川集五 學徒番号 二〇〇年  
氏名 年 月 日生  
右之者本廠ニ出動中ノ勤勞動員  
學徒タルコトヲ證明ス  
昭和七年二月廿六日  
第十一海軍航空廠長 廣長

注 意  
一、本體ハ常ニ所持シテ當廠機内及寄附舎ニ  
出入ノ際必要ニ依リ提示スベシ  
二、本體ヲ紛失シタルトキハ速ニ警務主任  
職員ヲ通知シ警務係ニ届出スベシ  
三、本體ハ他人ニ貸與スベカラズ  
四、不要ニ歸シタル際ハ返却スベシ  
第十一海軍航空廠

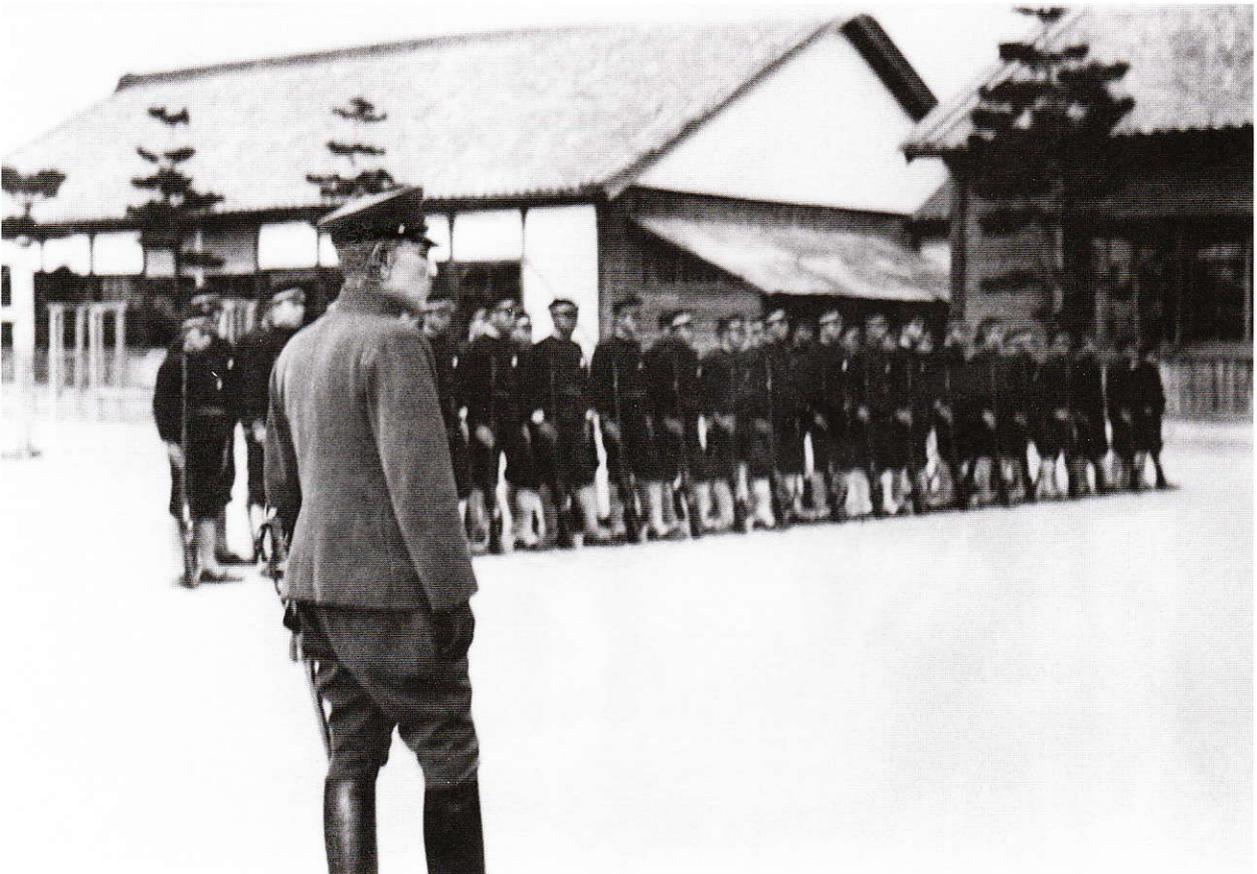


喇叭部(創立は昭和7年)

学徒動員の身分証明書



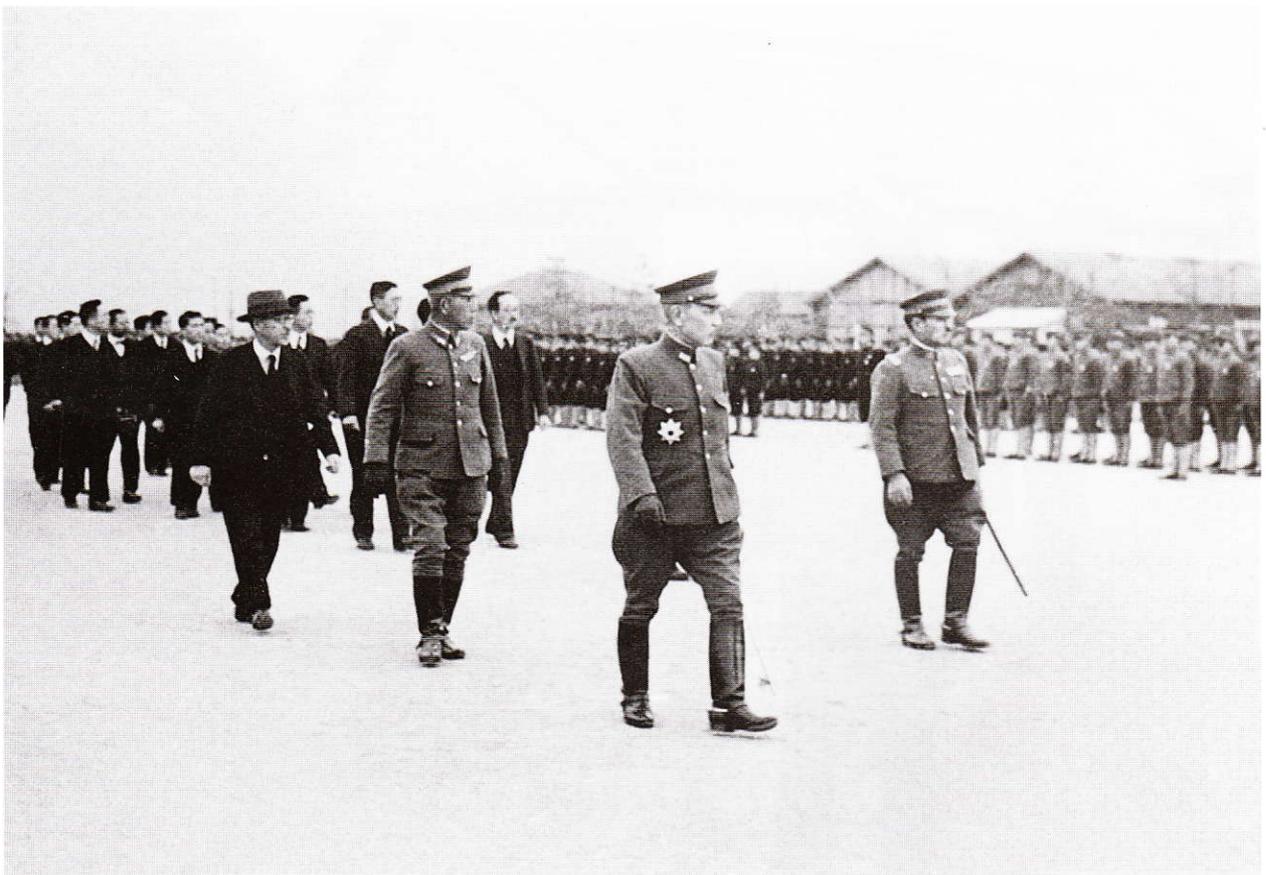
紀元は二千六百年 国旗に敬礼頭アー右! 嘯曉たる喇叭の響き(昭和15年)



執銃教練 セルロイド製名札をつけた頃



教練査閲「査閲官殿に敬礼」(昭和12年)



この年の7月7日、廬溝橋事件により、日中戦争本格化(昭和12年)



校旗に敬礼 「頭アー中！」(昭和16年頃)



学業半ばに多数が予科練に志願した(昭和18年)



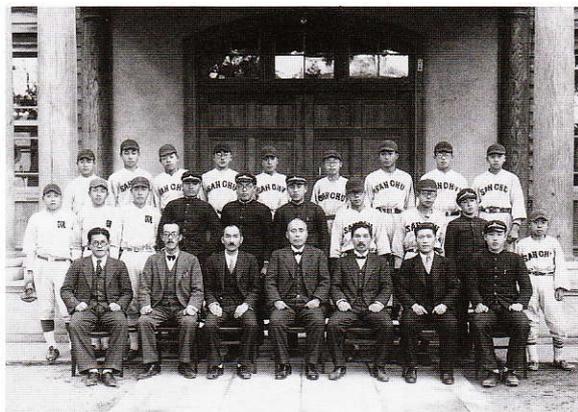
黒帽子、黒詰襟の制服姿の最後の卒業生（昭和16年3月卒業）



制服・制帽は陸軍軍服式の国防色、脚にゲートルを巻く（昭和17年卒業）



柔道部(昭和19年)



野球部(昭和12年)



籠球部(昭和18年)



射撃部(昭和18年)



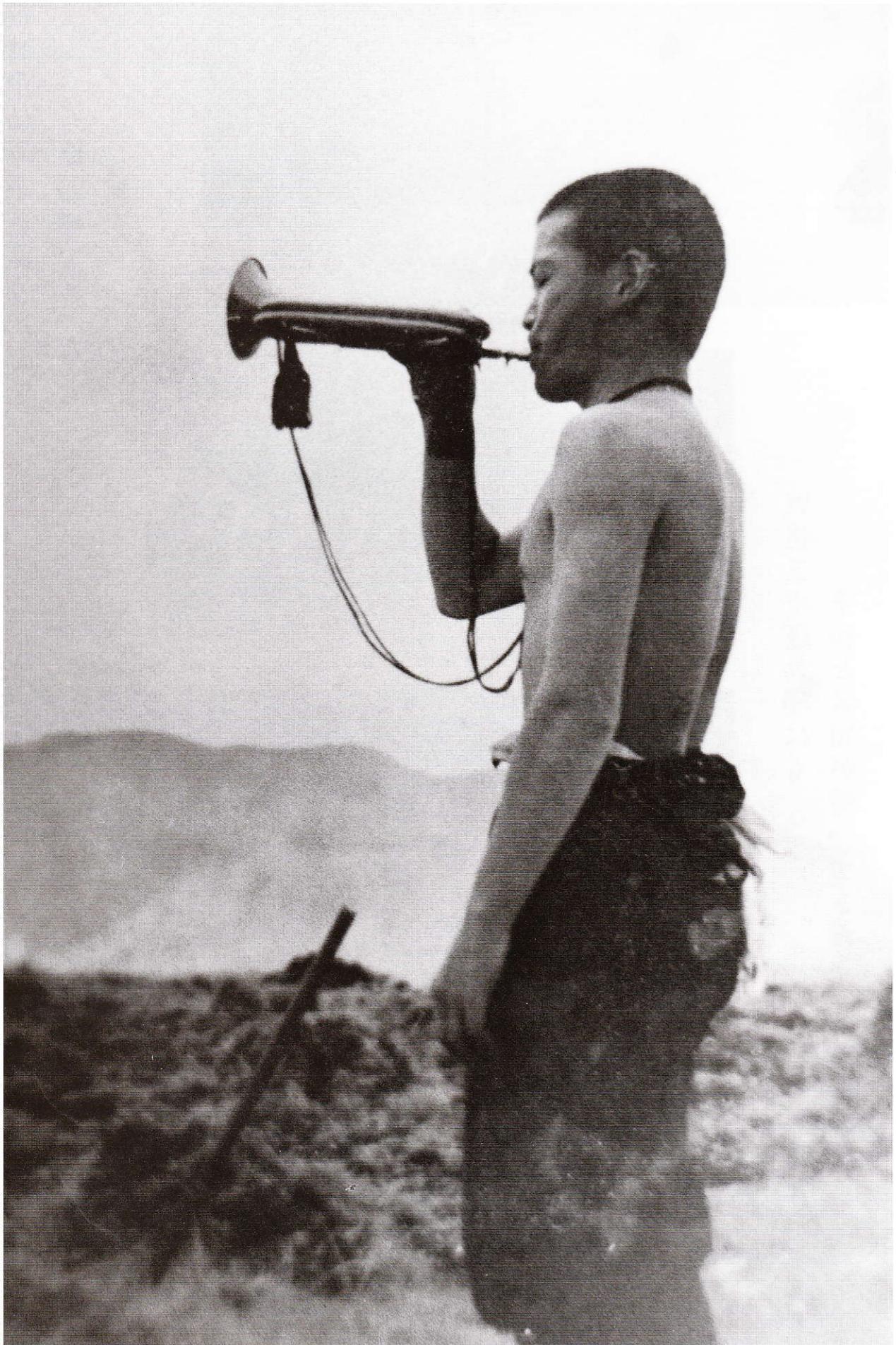
観音寺町学友会(琴弾八幡神社前)



講堂（昭和6年落成、平成元年取りこわし）



左奥 講堂、奉安殿（昭和9年～20年）



本土決戦「一億玉砕」が叫ばれた頃の三中生（質実剛健の日本男児）

戦時中は軍事色漂う  
運動場であった



運動会 一斉体操



運動会 武装競争(昭和17年)

戦後三中運動場にも  
平和と笑顔が帰ってきた



秋季大運動会(昭和21年)



文化祭でデカンショ踊り始まる